

岡山市長 様

提案者 特定非営利活動法人タブララサ
 所在地 岡山市北区西古松二丁目4-7
 代表者役職 理事長
 氏名 鳥越 弥生

協働課 岡山市環境局環境部環境事業課
 所在地 岡山市北区大供一丁目1-1
 代表者役職 課長
 氏名 岡崎 功

令和5年度 市民協働推進事業提案書

岡山市との協働により課題解決を図るため、令和5年度岡山市市民協働推進事業を提案します。

提案事業の名称	イベントによって発生するごみ削減に向けたサポート事業	
提案型	行政提案型	NPO提案型
①社会課題の概要	<p>ワンウェイ(使い捨て)プラスチックをはじめとするごみの排出は世界的にも問題視されており、環境省や岡山市においても、脱プラスチックやワンウェイ(使い捨て)容器の削減などの取組を推進している。</p> <p>タブララサでは2004年の法人設立以来、イベントでのごみ削減のためのリユース食器導入などの取組を続けてきた。イベント主催者を対象にしたニーズ調査では、環境に配慮したイベントの実施に関心はあるものの実現方法がわからない、などの現状が明らかになった。</p> <p>本事業ではイベントごみ削減のために、環境に配慮したイベント運営を実践しやすくするための制度「エコイベント認証制度(仮)」の構築を目指す。</p>	
②定性的効果 定量的効果	<p>定性的：イベント主催者およびイベント参加者への聞き取りおよびアンケート 主催者…ごみ削減に向けた取組でイベントの魅力向上する 参加者…ごみ削減に向けた取組をしているイベントに魅力を感じる 岡山市…環境配慮イベント認証制度(仮)の骨子ができる</p> <p>定量的：イベントごみの排出量の変化、処理あるいは環境配慮に関する経費の変化 ごみの排出量…サポート前の50%以下 経費…主催者が負担するごみ処理費用と環境配慮に関する費用の合計がサポート前を下回るか増大しない</p>	
③提案事業の内容	<p>「先行事例収集、認証制度構築」「イベントへの直接サポート」「コンテンツ、ノウハウ情報発信」を柱に、岡山市内のイベントにおけるごみの排出削減を目指す。</p> <p>先行事例を視察、それを踏まえてイベントをサポート、サポート内容のアーカイブ情報をWEBに掲載する。また、随時取組の効果を検証し、エコイベント認証制度(仮)の構築に向けて協議を進める。</p>	
事業の実施予定期間	令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日	
事業予算総額及び補助金申請額	事業予算総額	2,538,500円
	補助金申請額	2,000,000円

市民協働推進事業計画書

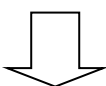
(1) 実施体制

提案者	代表提案団体	NPO 法人タブラサ			(担当者名 利根弥生)	
	岡山市の担当者	課名	環境事業課		電話	086-803-1321
		担当	氏名	平田健二		職名

(2) 事業の目標・内容 ※以下、数値や指標など用いながら具体的に記載してください。

①社会課題の概要	<p>岡山市に拠点を置く NPO 法人タブラサは、2004 年に法人を設立。そのきっかけとなったのは、前身団体の自主イベントで排出することになった食品容器ごみの多さに疑問を抱いたことであった。その後イベントごみ削減のサポートとして EC[H]0-SMA (エコをスマートに) プロジェクトを開始し、中四国初のリユース食器の貸出拠点として、イベントでのごみ回収 (エコステーション運営) 補助などに取り組んできた。これにより、約 60 袋のごみ袋を約 20 袋に抑えることができたイベントもある。</p> <p>これまでの取組の中で、イベント参加者からは「使い捨てはもったいないのでリユース食器の利用に賛成」「環境に配慮した取組をしている主催者に好感がもてる」などの声が、イベント主催者からは「費用の補助があれば今後もリユース食器の利用を検討したい」などの声が寄せられた。こうしたことからタブラサでは、環境に配慮したイベントについて、参加者および主催者双方のニーズやサポートの必要性を感じてきた。</p> <p>2016 年の世界経済フォーラムでは、海に流出するプラスチックごみの量は世界中で年間 800 万トン、2050 年には海洋中の魚の量を超えとの試算が出された。環境省でも 2018 年から「Plastics Smart」を呼びかけており、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律 (プラ新法)」は 2022 年から施行された。</p> <p>岡山市においては令和 3 年度に「岡山市一般廃棄物 (ごみ) 処理基本計画」を改訂し、ワンウェイプラスチックの削減を掲げている。また「岡山市海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」では、プラスチックごみが陸上から海へ流出することを防ぐため、具体的に効果のある取組の推進が求められている。</p> <p>こうした国や行政の動きを踏まえ、イベントによって発生するごみの削減に向けた取組を検討していくため、令和 4 年度に岡山市市民協働推進ニーズ調査事業を実施した (別紙参照)。調査結果から見えてきた課題としては、大きく以下の 2 点があげられる。</p> <p>①環境に配慮したイベントへの関心は高いものの、実際に環境に配慮する工夫があったイベントは全体の 69%であった。</p> <p>ただし、工夫があった内容として、ごみの分別やペットボトルの資源化物回収などの基本的な事項をあげている回答もみられたため、ごみを削減するための効果的な方法を示していく必要がある。また、工夫をしたかったができなかった、工夫がなかった理由として、工夫の仕方が分からないことや費用負担への懸念、コロナ対策などの優先順位を考慮して手が回らなかったとの記述が見受けられた。</p> <p>②発生したごみの回収方法について、業者に回収を依頼しているイベントは 33%であった。あわせて、業者に回収を依頼するための費用として、2 万円～最大 10 万円程度 (平均 4 万円程度) の負担があることも明らかになった。</p> <p>この他にも、イベントごみに関する困りごとなどについて、ごみ袋の交換サポートや、ごみの処理に関するガイドラインなどを求める意見、その他イベント開催時のごみに関連した知識や情報提供があると良かったという経験談などがあげられた。</p> <p>このことから、イベントによって発生するごみ削減のために、環境に配慮したイベントの運営方法をイベント主催者に伝え、実践しやすい環境をつくる必要性を確認できる。よって本事業では、環境に配慮した工夫を実施するイベントを認定し補助金を交付する「環境配慮イベント認証制度 (仮)」の構築を目指し、制度構築のための必要条件や適切な実施方法を探る。こうした取組の推進がゆくゆくは海洋プラスチックごみ対策につながるものと考え。</p> <p>【参考 URL】</p> <ul style="list-style-type: none">○環境省 Plastics Smart http://plastics-smart.env.go.jp/○政府広報オンライン「海のプラスチックごみを減らし きれいな海と生き物を守る! ～「プラスチック・スマート」キャンペーン～」 https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201905/1.html
----------	---

<p>②定性効果と定量的効果</p>	<p>定性的：イベント主催者およびイベント参加者への聞き取りおよびアンケート 主催者…ごみ削減に向けた取組でイベントの魅力向上する 参加者…ごみ削減に向けた取組をしているイベントに魅力を感じる 岡山市…環境配慮イベント認定制度(仮)の骨子ができる</p> <p>定量的：イベントごみの排出量の変化、処理あるいは環境配慮に関する経費の変化 ごみの排出量…サポート前の50%以下を目指す 経費…主催者が負担するごみ処理費用と環境配慮に関する費用の合計がサポート前を下回る、あるいは増大しない</p>
<p>③提案事業の内容</p> <p>※箇条書きで簡潔に書いてください</p>	<p>1年目の目標 岡山市内で開催する複数のイベントについて、イベントの人数規模や、サポート体制（関わり方の深さ）を変えながら、環境配慮のための情報提供および各種サポートを試みる（10件程度を想定）。 サポート内容に対する効果検証などを踏まえ、「環境配慮イベント認定制度(仮)」の骨子作成を進める。</p> <p>(NPO)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先行事例収集、認証制度構築 ごみ削減のためのイベント運営方法の多様化と研鑽のため、全国各地の先行事例への視察を行う。本事業で展開するサポートに導入を試み、ひいては認証制度の骨子検討に活かす。 例) リユース食器ネットワーク、ごみゼロナビゲーション ・ イベントへの直接サポート 令和4年度のニーズ調査事業の内容を参考に、10件程度のイベントでごみ削減に向けたサポートを実施する。実施前段階での打ち合わせからそのイベントの規模や主催者の意向に適したサポートメニューを提案し、実際に導入するための準備などをサポートする。イベント当日の会場にスタッフが赴き、スムーズに対応するための補助などをして、現場での課題を確認する。振り返りの場も設けて効果の検証や今後の展開を協議する。 サポートメニューの例) リユース食器の導入、ごみステーションの運営、来場者への理解促進広報など ・ コンテンツ、ノウハウ情報発信 主に岡山市内で環境に配慮した取組の導入を検討している主催者を対象にした情報提供を行う。本事業での運営サポート事例のアーカイブ情報を掲載し、各イベント主催者が参照できるように、新たにホームページ上での発信を進める。 <p>(岡山市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サポート内容を共同で考案し、事業実施状況の把握をしながら効果の検証を行う。 ・ 当該事業結果を基に認定制度の骨子を検討する。 ・ イベントによって発生するワンウェイ（使い捨て）プラスチックごみの削減事業を市の施策として体系的に取りまとめる。 <p>2年目の目標 1年目の成果と課題を踏まえながら、岡山市内で開催する複数のイベントについて、イベントの人数規模や、サポート体制（関わり方の深さ）を変えながら、環境配慮のための情報提供および各種サポートを試みる（対象は1年目との入れ替えも含め、おおむね10件を想定）。 サポート内容に対する効果検証などを踏まえ、認定制度の事業化に向けて各種調整を進める。</p> <p>(NPO)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年目の成果と課題を踏まえて、適宜改善しながら環境にやさしいイベントの開催をサポートする。 ・ 先行事例収集、認証制度構築 ・ イベントへの直接サポート（1年目と異なるイベントのサポートを検討している） ・ コンテンツ、ノウハウ情報発信、報告書作成 <p>(岡山市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認定制度の事業化に係る調整全般。



(4) 事業スケジュール

※自由に枠を追加・結合・分割してご記入ください。

時期	先行事例収集、認証制度構築	イベントへの直接サポート	コンテンツ、ノウハウ情報発信	
4月	上旬	先行事例実施団体情報収集	イベント実施情報収集、	
	中旬	視察 [取り組みのヒアリング]	サポート実施団体の選定・調整 (10件) ~5月中	
	下旬		イベント担当者との打ち合わせ	HP デザイン打ち合わせ
5月	上旬	認証条件の仮説案検討 ~6月中 実際の導入を元に更新		
	中旬		認証条件の仮説案検討、実際の導入を元に更新	
	下旬			
6月	上旬			HP 公開、随時更新 (実証実験のレポートを主に掲載)
	中旬			
	下旬	↓		
7月	上旬	視察 [イベント運営現場]	☆実証実験~各イベントの 振り返り (実施が7月~11月の イベントが対象)	
	中旬			
	下旬			
8月	上旬			
	中旬			
	下旬			
9月	上旬	認証条件の見直し、再構築		
	中旬			提供できるサポート体制を HP に 掲載 (随時更新)
	下旬			
10月	上旬			
	中旬			
	下旬	↓		
11月	上旬		↓	
	中旬		↓	
	下旬			サポート体制広報のための紙媒体 (チラシまたはパンフレット) デザイン、内容打ち合わせ
12月	上旬	2年度目実施時の認証条件検討	導入結果の集約、認証条件検討	
	中旬			
	下旬			
1月	上旬		当年度活動のまとめ、 レポート作成	
	中旬			
	下旬			チラシまたはパンフレット印刷
2月	上旬			
	中旬			
	下旬			
3月	上旬			
	中旬			
	下旬		↓	

(様式第3号)

市民協働推進事業収支予算書

提案事業名	イベントによって発生するごみ削減に向けたサポート事業
-------	----------------------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体自己資金	538,500	
	合同提案団体負担金等		
自己資金合計 (a)		538,500	
収入その他			
その他収入合計 (b)		0	
岡山市補助金申請額 (c)		2,000,000	
収入合計 (d) = (a) + (b) + (c)		2,538,500	

<支出>

費目		金額	内訳
事業実施経費	人件費	540,000	事業担当スタッフ 1,500円×月30時間×12ヶ月
	報酬費	300,000	イベント補助スタッフ 1,250円×8時間×3名×10回
	旅費	75,000	先行事例実施団体視察謝礼 5団体
	消耗品費	50,000	打ち合わせ、イベント現地訪問
		130,000	先行事例実施団体、イベント視察時 (関東) 往復 35,000円×2人 (関西) 往復 20,000円×2人 (中四国) 往復 10,000円×2人
	食糧費 印刷製本費 通信運搬費 使用料・賃借料 保険料 委託料	300,000	貸し出し用リユース食器購入費 (購入想定) 丼小 150円×500個 カップ小 100円×200個 コーヒーカップ 100円×150個 カクテル、ワイングラス 300円×500個 スプーン 70円×300個 リユース食器用コンテナ
		150,000	その他消耗品費 ごみステーション用品、ごみ袋など
		50,000	ボランティアスタッフ食事費
		5,000	印刷費 (チラシ作成など)
		55,000	送料 (食器輸送など)
		50,000	レンタカー、駐車場など
		3,500	ボランティア保険
		100,000	食器洗浄費用 10,000円×10回
		50,000	パンフレット、広報用素材デザイン
200,000		サポートの情報提供用 HP 作成、管理運営	
事業実施経費合計 (e)		2,058,500円	
管理運営	人件費	480,000	事務局スタッフ 40,000円/月×12ヶ月×1人
管理運営経費合計 (f)		480,000円	
総事業費 (g) = (e) + (f)		2,538,500円	

(添付書類等)

- ・人件費等については、積算の根拠 (これまでの実績や独自の単価表) を添付すること
- ・参加料などの事業収入を見込む場合は「その他収入見込」欄に計上すること
- ・委託費は補助金交付申請額の3分の1以内に限り